

○ プログラム

◎日 時：平成25年10月12日（土）10：00～16：30

◎会 場：ハーネル仙台（部屋：2階 まつしま）
（宮城県仙台市青葉区本町2-12-7）

10：00 受付開始

10：30～10：45 文化庁施策説明

○説明者：岩佐 敬昭（文化庁文化部国語課長）

10：45～11：00 文化審議会国語分科会日本語教育小委員会における審議状況の説明

○説明者：杉戸 清樹（文化審議会国語分科会日本語教育小委員会副主査，
大学共同利用機関法人人間文化研究機構 国立国語研究所
名誉所員）

11：00～11：45 「生活者としての外国人」のための日本語教育の
標準的なカリキュラム案等を活用した取組の報告

○カリキュラム案を活用した「災害に対応できる日本語教室」の実践
報告者：NPO法人国際支援地球村 梶原 美佳
（平成24年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
地域日本語教育実践プログラムA採択団体）

○多文化共生コミュニティ形成のための日本語教育事業
報告者：公益財団法人札幌国際プラザ 杉本 彩
（平成24年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
地域日本語教育実践プログラムB採択団体）

11：45～13：00 昼食

**13:00～14:00 平成24年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
事例発表ポスターセッション** (場所: 2階 まつしま)

○地域日本語教育実践プログラムA 4団体

- ・日本語教室いわて「和」
- ・NPO法人国際支援地球村
- ・NPO法人ヤマガタヤポニカ
- ・会津若松市国際交流協会

○地域日本語教育実践プログラムB 2団体

- ・公益財団法人札幌国際プラザ
- ・のしろ日本語学習会

14:00～16:00 「生活者としての外国人」のための日本語教育ワークショップ

○第一分科会 (場所: 2階 まつしま)

「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案とは？
ー5点セット早分かり！ー

講師: 加藤 早苗 (日本語教育小委員会委員, インターカルト日本語学校代表)

○第二分科会 (場所: 6階 ふじ)

行動・体験中心の活動を考えようー教材例集を活用するためにー

講師: 吉田 聖子 (社団法人日本語教育学会, あけぼの会日本語教室代表)

○第三分科会 (場所: 6階 はぎ)

私たちの日本語教室・日本語教育プログラムを点検しよう!

ー指導力評価に関するチェックシートを活用してPDCAサイクルを回そうー

講師: 品田 潤子 (公益社団法人国際日本語普及協会所属講師)

16:00～16:30 分科会の成果共有報告会・閉会 (場所: 2階 まつしま)